

校内研究のあゆみ
～3年間の研究を振り返って～

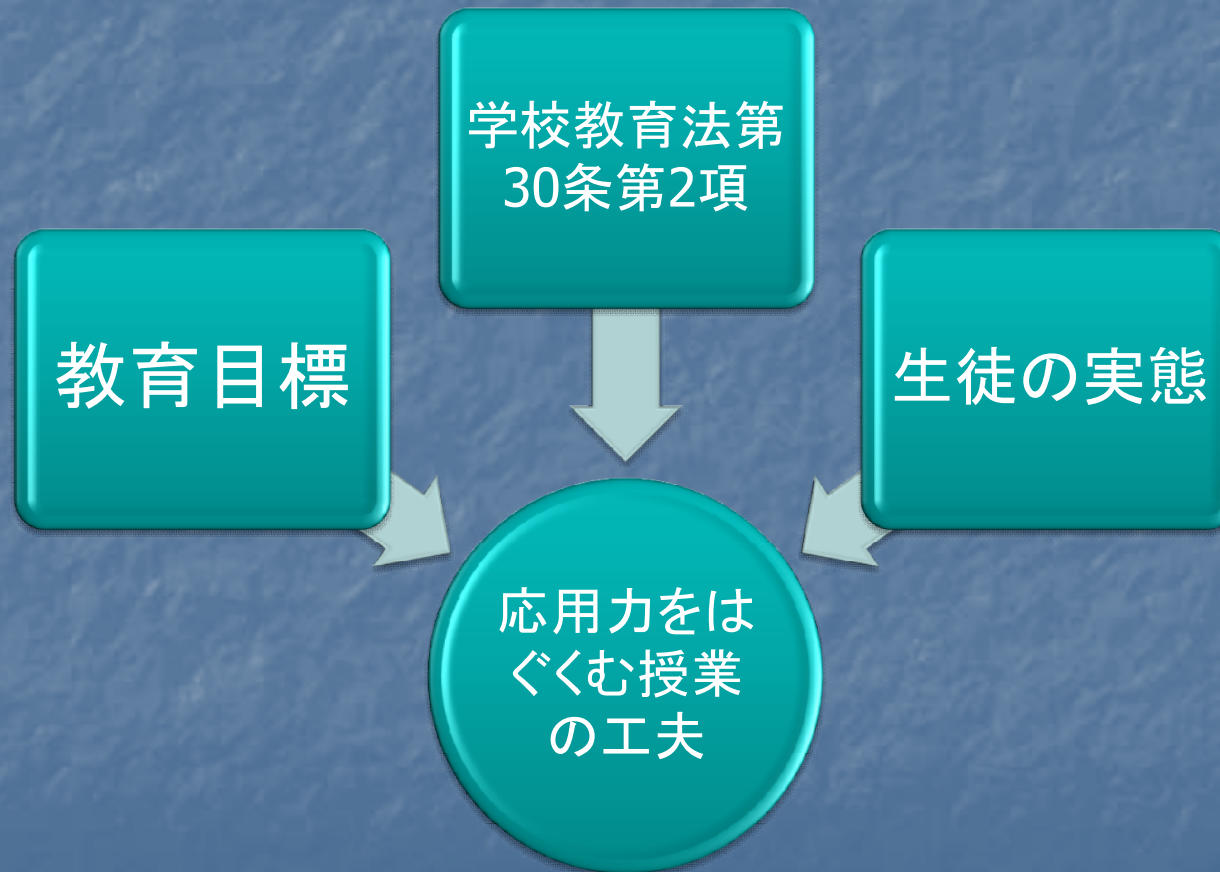
仙台市立五橋中学校

本校の校内研究主題

生徒一人ひとりの応用力(思考力・判断力・表現力等)をはぐくむ授業の工夫

～各教科等における言語活動の充実を通して～

研究主題設定の背景



目指す生徒像と授業像

- 目指す生徒像

- 求めよ知性と創造（教育方針より）

- 学びのステップアップシートゴールの姿

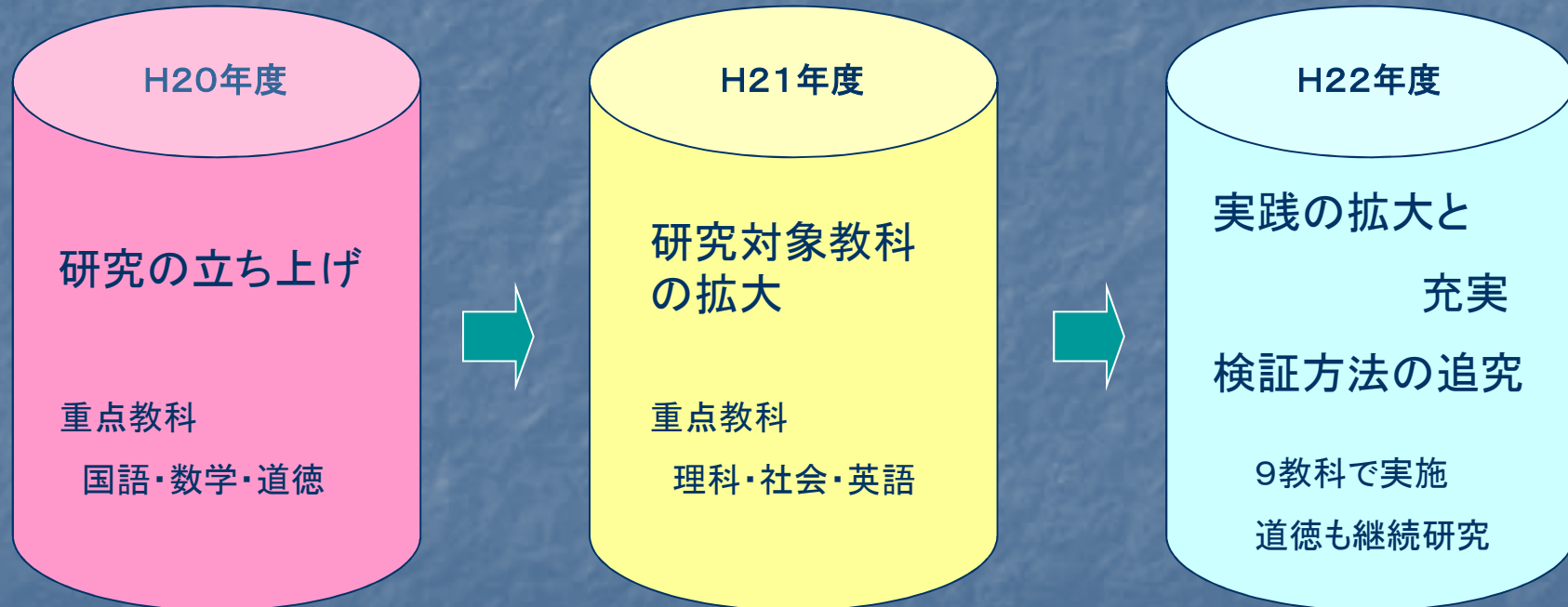
- 目指す授業像

- 基礎基本の知識・技能の習得，それらの活用における言語活動を授業に積極的に取り入れた授業づくり

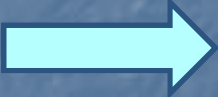
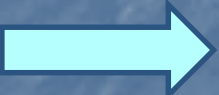
各授業での取組

- ①「考える課題」の設定
- ②小グループによる話し合い
- ③自分の考えを書くこと
- ④言葉による振り返り
- ⑤試験問題の工夫

研究の経過



研究体制

- 平成20年度・21年度  専門部
 - H20 国語・数学・道徳
 - H21 理科・社会・英語
- 平成22年度  各教科部

「研究は全員で」

言語の役割とその充実

言語の役割

知的活動の基盤

コミュニケーション
の基盤

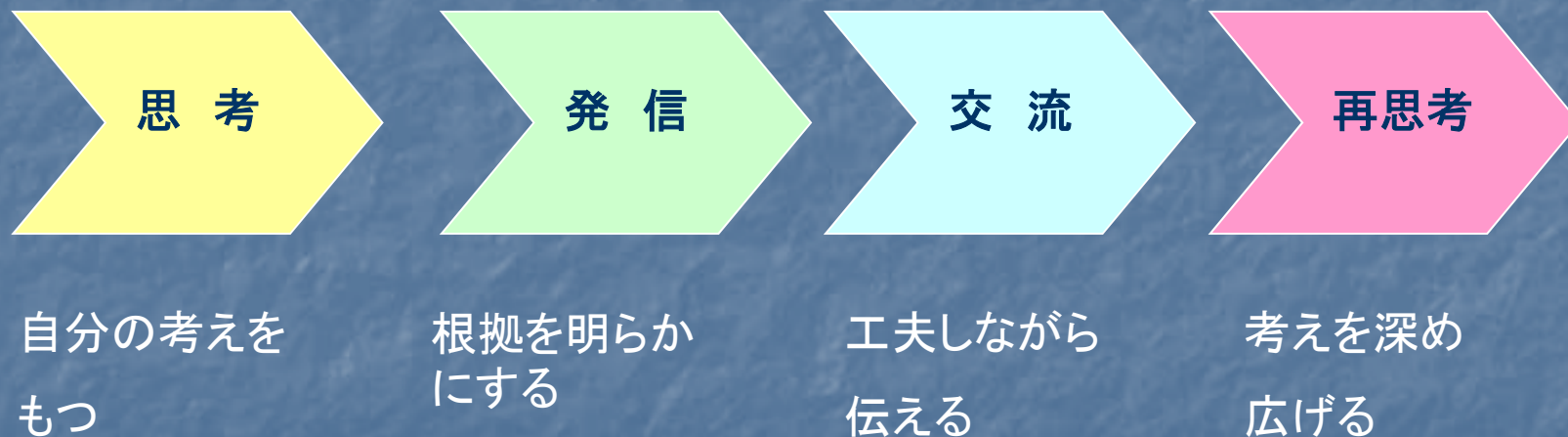
感性・情緒の基盤



生徒一人ひとりがもっている曖昧な思いや考え(思考や感性, 理解)をできるだけ明確にして, 他者に伝えたり, また他者の思いや考えを聞くことで, さらに深化した考えを持つことが可能になる

言語活動を取り入れるために・・・

- 学習のプロセスを重視した授業づくり

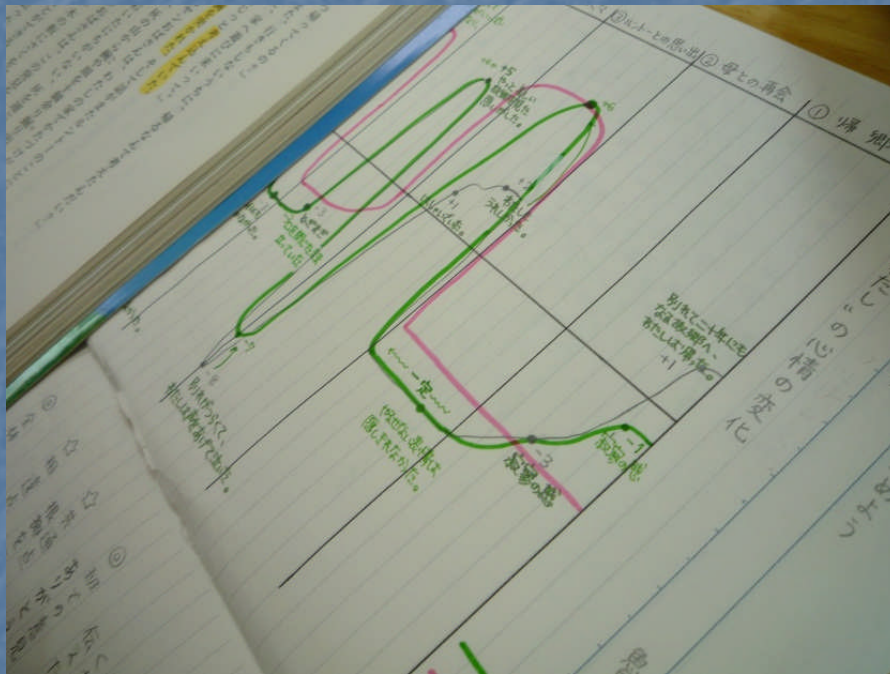


指導力（授業力）向上のために

- 教科目標と年間指導計画の確認（4月）
- 全員授業公開（7月～12月）
- 講演会・県内外中学校の公開研究会へ参加

各教科の実践

国語科の実践

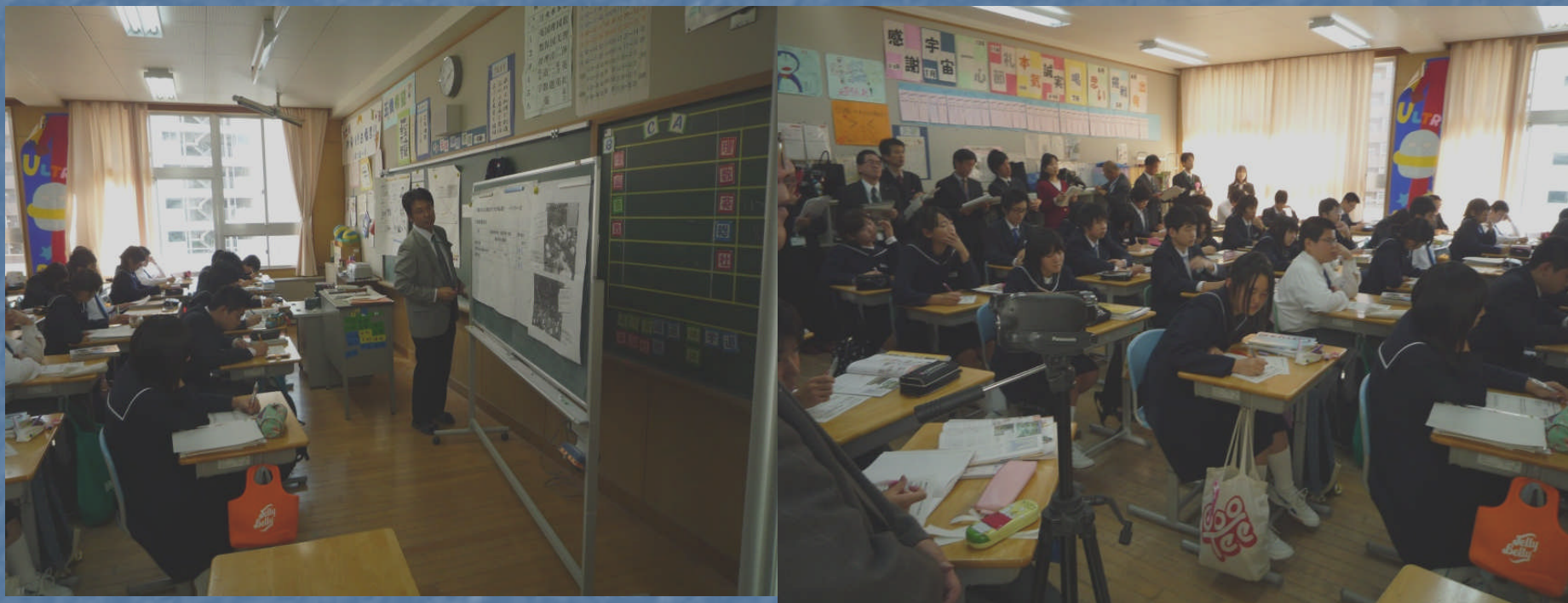


心情曲線を描いたノート



小グループでの話し合い活動

社会科の実践



価格がどのようにして決まるかを学んだあと、小グループで話し合い活動をした

数学科の実践



最後に全体で比較検討(再考)
各条件の利用

平行線から合同な三角形をつくる

理科の実践



視聴覚機器を活用しながら理解を深める

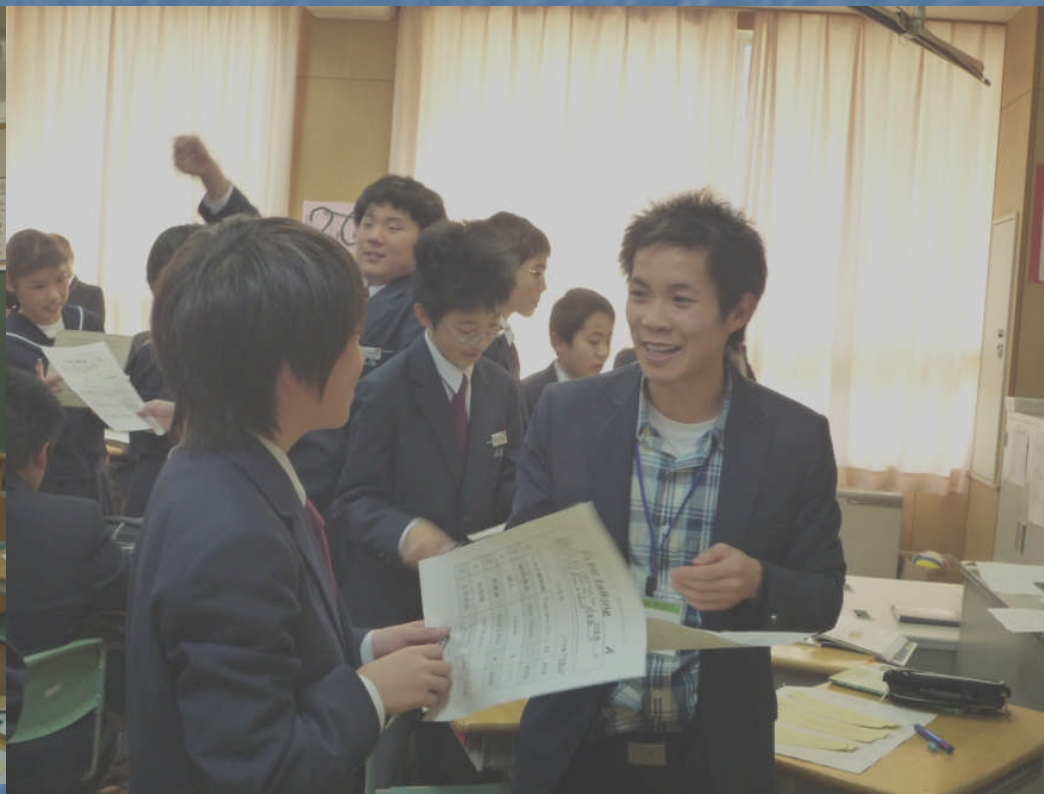


メモをとりながら結果を聞く様子

英語科の実践



Jigsaw Listeningの様子



Free Talkingの様子

音楽科の実践



とらえよう

「ボレロ」を聞き、何種類の楽器が使われているのか考える



色のついた水を混ぜ合わせ、それを音の世界へと視野を広げて考える

美術科の実践



作品の主題をふまえながら、背景セットをつくっている様子

保健体育科の実践



学習カードを使ってグループで話し合い



PCと大型モニターを活用した授業

家庭科の実践



グループでの話し合い



発表の準備

道徳教育の実践

- 学校教育全体を通して行う道徳教育
→ 学校行事連動型（総合単元的道徳）

＝道徳の時間の取組＝

① 資料道徳（副読本・新聞記事）

② ハートエクササイズ

（スキルトレーニング）


ハートエクササイズについて

- QU調査の実施

→全クラスで7月に実施し、学級経営に活用

○プロットが縦長 エンカウンターが有効

○プロットが横長 ソーシャルスキルが有効


 学活とのかねあいも考慮して実施

生徒への意識づけ

- スローガンの設定
→行事にあわせて1年間を5期に分けて
各期のスローガンを設定し呼びかける
- 朝会・全校集会での生徒への「語りかけ」
→心のほぐし、教師と生徒の心のつながり
を意識

研究の成果と課題

■ 成果

- ・教師が学習プロセスを意識した授業づくりに慣れてきたことで、生徒の言語活動もスムーズになってきた
 - ・自分の考えを持ち、他を意識して工夫しながら話したり書いたりできるようになった
-  一問一答型の授業からの脱出

■ 課題

- ・表現力の育成の充実
(語彙力の向上を図りながら言語の正確さを追究)
- ・授業における目標の示し方
(どんな力をつけたいのか生徒にも意識させる仕掛けを工夫)
- ・応用力の評価の工夫
(ルーブリックも視野に入れた評価方法の検討)

最後に・・・

